



1 ソフトタイプ宇宙服

山方さんが実現を目指す第一候補の宇宙服。柔らかく動きやすい繊維によって出来ている。防護性が弱いいため、屋外で作業する際は、オプションパーツを装着して防護性を高めるなど、パーツを付け替えることで様々な作業へ対応が可能になる。打ち上げ・帰還時の与圧服としても使えるため、一度オプションパーツを月面へ運べば、その後はこの宇宙服だけでOK!

課題

- ・運用時の圧力制御が難しい。
- ・デブリや微小隕石への防御力が低い



2 ハードタイプ宇宙服

固いシェル構造をした甲冑のように全身を覆う防護性重視のタイプ。デブリや微小隕石への耐性が高い。

課題

- ・目的に応じた宇宙服が必要になる。
- ・動きの自由度が低い。
- ・輸送時にスペースをとる、など。



3 ハイブリッドタイプ宇宙服

固いシェルとソフトな繊維部分の組み合わせ。現在使われているものと同じ構造なので実現性が高い。さらなる向上型を目指す。

課題

- ・ハードタイプと同じく、輸送時のスペースが必要。
- ・打ち上げ・帰還時とは別に宇宙服が必要。